

フラッシュに最適化したOSでパフォーマンスを向上

ビジネスの成長に合わせて変動するデータ処理ニーズに対応するには、高度で安定したパフォーマンスを発揮するストレージ基盤が必要です。日立はフラッシュデバイスのアクセス性能を最大限に引き出すため、データアクセス処理のアーキテクチャを一新。「Hitachi Virtual Storage Platform」^{バーチャル ストレージ プラットフォーム} (以下、VSP) の新ミッドレンジ・フラッシュストレージにおいて、ハイエンドクラスの高性能・高信頼を実現しました。

フラッシュに最適化したOSを搭載

日立は、フラッシュの高いスループット性能に最適化した設計改善を実施し、データアクセス処理時にストレージコントローラが備えるキャッシュメモリの排他待ちによるオーバーヘッドやボトルネックを解消。データアクセスの一括処理によるアクセス性能の向上を実現しました。

このアーキテクチャを盛り込み、フラッシュ向けに最適化されたOS「Storage

Virtualization Operating System RF」をVSPの新ミッドレンジ・フラッシュストレージ全モデルに搭載しました。これにより、さまざまなビジネス要求に対しても常に安定したパフォーマンスを発揮し、将来にわたる処理量増加にも柔軟に対応します。

従来ハイエンドモデルを凌駕する高性能を実現

ミッドレンジ オールフラッシュ構成の最上位モデルVSP F900では、従来のハ

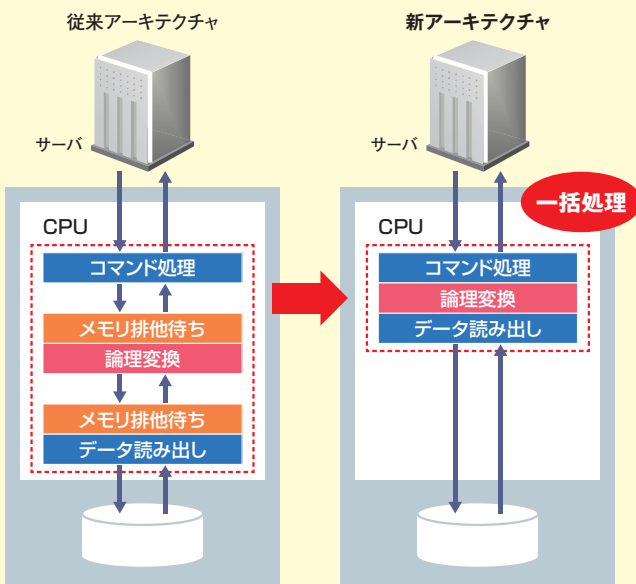
イエンドモデルVSP G1000と比べてIOPS^{*1}性能が114%まで向上。ミッションクリティカル用途に求められていた高性能に対応したことで、従来のハイエンドストレージからの置き換えを可能としました。

またVSP G350でも、従来同等モデルVSP G200と比較して300%上回るパフォーマンスを実現。多岐にわたるビジネス用途での高速・高信頼なデータ活用を支援します。

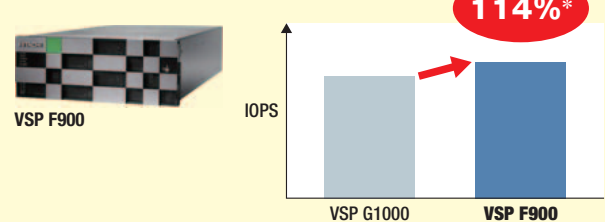
^{※1} Input/Output Per Second

データアクセス処理の徹底的な見直しで性能向上

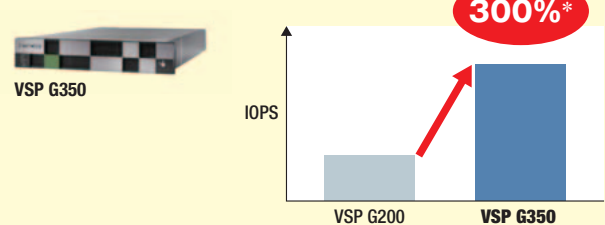
データアクセス一括処理で性能向上



従来ハイエンドモデルを凌駕する高性能



従来同等モデルを大きく引き離す高性能



レイテンシー 25%改善*

*実際の数値は、お客様の環境、装置構成により異なります。

ハイエンドクラスの高性能・高信頼を実現する新アーキテクチャ

お問い合わせ先・情報提供サイト

(株)日立製作所 ITプロダクツ統括本部
<http://www.hitachi.co.jp/storage/>